

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

(1) 人命・財産の被害を防止・最小化するための対策

(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

停電対策や耐震対策により、災害時でも継続的な教育・学習環境を提供する（千葉県千葉市）

事業者：放送大学学園



対策名：95 放送大学学園の施設整備に関する対策

主たる施策グループ： 2-3) 劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理がもたらす、多数の被災者の健康・心理状態の悪化による死者の発生 教育・文化等

事業名：放送及び学習環境の防災・減災機能の強化

- ポイント**
- 停電時の電力確保や非構造部材の耐震対策を実施
 - 災害時の電力喪失や施設被害を防止し、継続的な教育・学習環境を提供

地域の概要・課題

令和元年房総半島台風（台風15号）において、千葉県に広域停電が発生、千葉市まで達しなかったものの災害時の対策が課題となりました。また、今まで進めてきた建物の耐震対策だけでなく、非構造部材の耐震対策を行う必要が明らかになりました。

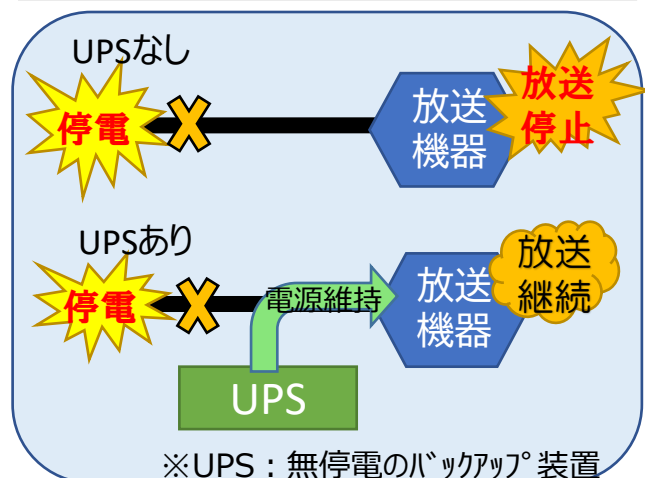
よって、地震や台風等に伴う災害が発生した場合でも、全国各地に在住する学習者に対して、教育機能を低下させることなく、継続的な教育・学習環境を提供するため、放送大学学園において、災害時の教育機能の低下を防ぐため、老朽化・陳腐化が著しい施設の改修を実施しました。

事業の概要

施設の停電対策として、放送機器に係る電源装置や幕張本部地区の電力確保の整備を進めるとともに、耐震対策として、放送番組の制作が継続できるようスタジオ設備の更新を行い、地震等の災害に備えました。

見込まれる効果

令和元年房総半島台風（台風15号）に伴う長期停電被害と同規模の災害等が発生した場合でも、本対策により整備した電源装置等により電力を途切れさせず、全国各地に在住する学習者（約9万人）に対して継続的な教育・学習環境の提供が可能となります。



2 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策

3 (1) 国土強靱化に関する施策のデジタル化

(2) 災害関連情報の予測、収集・集積